

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
小児科学		(リ) 必修 (人) 選択	1	(リ.人-24) 2 (人 25-) 2.3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小林 千尋	講師控室	kyoumu	授業終了後		
授業の目的・概要	小児の成長・発達および小児の病態を理解し、こどもと保護者への支援に活かすことを目的とする。講義資料を配布し、基礎知識を説明したのちに練習問題の演習・解説を行う。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィードバック <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	丸暗記ではなく理解するように努めること。				
教科書	指定しない				
参考書	小児看護学[2]小児臨床看護各論/著:丸光恵/医学書院				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	成長・発達が順調なのか判断できる。			RH(2)	
②	患者の病態を把握できる。			RH(2)	
③	患者の安全に配慮できる。症状の悪化にすぐに気づくことができる。			RH(2)	
④	患者の特性に応じた関わりができる。			RH(2)	
⑤	他の医療スタッフと意思疎通が行える。			RH(4)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	呼吸器 (気管支喘息、肺炎など)	講義	講義資料の復習	3.75	
2	循環器 (先天性心疾患など)	講義	講義資料の復習	3.75	
3	新生児 (新生児の生理と病態)	講義	講義資料の復習	3.75	
4	血液 (白血病)、消化器 (胃腸炎、虫垂炎など)	講義	講義資料の復習	3.75	
5	神経 (てんかん、発達障害、重症心身障害児など)	講義	講義資料の復習	3.75	
6	遺伝子・染色体異常 (ダウン症候群など)	講義	講義資料の復習	3.75	
7	成長・発達、筋ジストロフィー	講義	講義資料の復習	3.75	
8	内分泌・代謝 (思春期、1型糖尿病など)	講義	講義資料の復習	3.75	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		90	0	0	0	10	100
総合 力 指 標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	20	0	0	0	0	20
	コミュニケーション力	5	0	0	0	5	10
	取組みの姿勢・意欲	5	0	0	0	5	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	客観問題および説明問題を出題する。 読み手に伝わるような記述を心がけること。				試験の直後に解説と学習のまとめを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業中の質疑応答で授業への参加度を評価する。				発言内容に対する助言を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	小児科医として大学病院、市中病院、入所施設に勤務						
実践的授業の内容	実際の小児科診療でよく遭遇する問題とその対応（成長・発達の評価、症状悪化の判断、安全確保、治療・療育・支援を含む）						
そ の 他	大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢により、再度シラバスが変更される可能性がある。						